

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴赤れんがパーク		
指定管理者	株式会社ウッドイーハウス		
設置目的	国の重要文化財であり、舞鶴の歴史的資産でもある赤れんが倉庫群を次世代へ伝えていくため保存・活用し、市民の憩いの場の創出と観光交流人口の増大による地域経済の活性化を図るため。		
選定方法	☒ 公募・非公募	指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 14 年 3 月 31 日 まで
所管課	産業振興部観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和 4 年度	令和 5 年度			
公式来場者数(人)	506,088	700,012			
利用料金(円)	3,885,055	3,655,830			
指定管理料(円)	36,994,000	35,587,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
来場者数	1,500,000 人	900,000 人	700,012 人	77%
観光消費額	3,000,000 千円	450,000 千円	262,000 千円	58%
稼働率	—	40%	35.6%	89%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	3,655,830	人件費	22,080,000
事業収入	3,879,700	維持管理費	14,626,744
その他収入	0	事業費	1,458,600
指定管理料	35,587,000	その他	2,168,192
合計	43,122,530	合計	40,333,536
差額			2,788,944

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	予定されていたコンテンツのオープン延期等の影響もあり、来場者数、観光消費額、稼働率ともに目標には届かなかった。しかし成果目標値自体が総合計画の目標値と比較しても過大すぎる部分もあるため考慮も必要である。好調な自主事業の効果的なプロモーション運用や、文庫山エリアの新たにオープン等による賑わい創出により、成果目標を達成できることを期待する。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	市と密接な連携を図り将来のビジョンに沿って、現在すべきことを着実に実施している。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	市民の憩いの場、観光交流拠点施設として果たすべき役割を果たしている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	指定事業の利用者数は去年より減となったが、自主事業も新たなイベントを企画し、新たな賑わいの創出や観光客誘致に繋げた点は評価できる。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	LUUP 事業などの新たな周遊促進を取り入れるなど、観光客誘致に資する取組を進められていた。また去年度引き続き WEB ページや SNS を活用した情報発信も頻繁に行われており評価できる。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	専門の職員も配置しインバウンド向け体制を強化するなど、利用者・来場者に対する体制を維持することで満足度の維持に努めていた。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	△	利用者アンケートは行われているが、結果の共有が不十分であり把握できていない部分があるので改善されたい。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	迅速に苦情対応を行うなど評価できる。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	電球を LED 電球に交換したことによる節電など経費の節減に努めている。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	事務作業の効率化を行いコピー用紙の再利用に取り組むなど経費の削減に努めている。
収入増加のための取組が行われたか	○	Park-PFI の整備と自主事業としての収益事業を積極的に取り組み、賑わいづくりと集客に貢献している。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	事務作業の見直しを実施することにより、時間外勤務の抑制を実現するなど適切な人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	新人スタッフの教育研修を行うなど職員全員の能力向上に取り組んでおり評価できる。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	職員への管理を徹底している。
情報の公開が適切に行われたか	○	透明性のある運営を努めている。
収支状況や会計処理が適切か	○	指定管理部分と Park-PFI 部分等の会計区分も明確になり、適切に管理が行われている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	△	備品台帳は作成されているが、内容についての把握が行われていない部分があるので、整理を行うこと。
危機管理、安全対策などは十分か	○	消防設備の更新等、危機管理対策が実施されている。引き続き万一の場合に備える体制づくりに努めてほしい。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	LUUP 事業を導入し施設・市内間の周遊の促進や、インバウンド対応職員を増やすなど一人一人と向き合った丁寧な接客、SNS を積極的に活用した PR などサービス向上に向けた取組がみられた。	
経費削減	事務作業の効率化を図ったことによる人件費の削減や、LED 電球の活用や省資源化を進めることにより経費の削減に積極的に取り組んでいた。	
施設の維持・管理	大きな事故もなく円滑に管理運営しているが、備品台帳等整理が図れていないところがあるため、適切な維持管理に向け、管理・改修に努めてほしい。	

※ (1) から (4) までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.2 点	※左記の点数は、各委員が次の 5 段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	準備をしっかりされながら目標に向かって進まれていると思う、今後に期待する。 来場者数の目標達成に向け頑張ってください。 来場者及び観光消費額が目標を大きく下回った原因を検証していただきたい。 パーク内にあるテナント等に対する指導・監督が必要だと思われる。	

《参考》 過年度の評価点

令和 4 年度	年度	年度	年度	平均
3.33 点				